



## 適用病害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤及びスピノサド、 メトキシフェノジドを含む 農薬の総使用回数	使用 方法
だいこん	コナガ アオムシ	2000	100～300 ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布
キャベツ	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ、ヨトウムシ ハイマダラノメイガ タマナギンウワバ				本剤：2回以内 スピノサド：4回以内 (定植前は1回以内、 本圃では3回以内) メトキシフェノジド：2回以内	
はくさい	アオムシ、ヨトウムシ コナガ					
ブロッコリー	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ					
レタス	オオタバコガ ヨトウムシ			収穫3日前 まで	本剤：2回以内 スピノサド：3回以内 (定植前は1回以内、 本圃では2回以内) メトキシフェノジド：2回以内	
非結球レタス						
きく	オオタバコガ アザミウマ類	1000～2000	発生初期	2回以内		

青文字の作物名はグループ化されていますので詳細は(独)農林水産消費安全技術センターのウェブサイトをご参照ください

## 上手な使い方

- 本剤は植物体上での移行性はありません。対象害虫に対してはラベルに従い所定濃度に希釈液を調製し、害虫発生初期に散布むらのないように十分量を散布してください。
- 抵抗性回避のため、コナガ、チョウ目害虫への連続散布はさけ、ラベルの使用回数内であっても、必要があれば作用機作の違う剤とのローテーションを病害虫防除指導関係機関とご相談ください。
- 本剤は、定植前の灌注処理には使用できません。



### 使用上の注意



- 本剤は懸濁性液体なので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。なお希釈する場合は、所定量の水に加えてから充分攪拌してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法にあわせて調節してください。
- 本剤は植物体上での浸透移行性が無いため、葉裏にも良くかかるよう散布してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある地域では使用しないでください。

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - ・関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など）に対して、周辺で養蜂が行われているか確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチへの危害防止に努めてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布機具及び容器の洗浄水などは、河川などに流さないでください。また、空容器は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に始めて使用する場合には、病虫害防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所など関係機関の指導を受けてください。



### 安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをし、衣服の交換をしてください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。

**保管**…直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な乾燥した場所に密栓して保管してください。